

第 6 回（3 月）「春節中の中国と冬の雲南省」

石井夏月

今月の研修員だよりでは春節中の中国の様子や、冬ならではの雲南省昆明市の観光地について紹介していきたいと思います！

まずは春節についてです！春節とは中国で祝われる旧正月のことです。中国では元旦ではなく旧暦上の正月を盛大に祝います。この春節期間中はほとんどの店が通常営業では



写真 1 ライトアップされた翠湖

なくなり、休業するか、時短営業という形をとっている店が多いです。これは元宵節（旧正月から 15 日目、旧暦の 1 月 15 日）になるまで続きます。元宵節とは、春節の終わりを祝う日のことを指します。この日は家族団らんで湯圓と呼ばれる甘い餡を白玉団子で包んだスイーツを食べることが慣習の一つになっています。また、地方によって伝えられていることは少しずつ異なりますが、春節期間に行ってはいけない、タブーとされていることも多くあります。代表的なものでいうと髪を切るべきではないというものです。“髪”という発音とお金持ちになるという意味の“発財”という単語の 1 文字目の“発”という発音が同じため、髪を切ることは財運が切れてしまうということ

ことを意味しているのです！私も前髪を切りたいなとつぶやいたら、祖母から絶対切ってはいけないといわれてしまいました。ですが、街中で髪を切っている人を何人か見かけたためあまり気にしていない人もいます。



写真 2 元宵節に上がった花火

また、この時期になると街中は春節を祝うためにライトアップされているところがとても多いです。夜に外へ出ると写真 1 のように日本ではあまりない赤にライトアップされた街中を楽しむことができます！そして元宵節までの 15 日間昼夜問わずいろいろなところで花火が上がっています。マンションの下で花火をしていたり、普通の道路の上でしていたりと日本では見られない光景でとても面白く感じました！

そして次に、冬の雲南省だからこそ見ることのできる絶景を紹介します！



写真 3 滇池のカモメ

冬になるといろいろなところで飛んでいるカモメを見ることができます。このカモメたちは寒さを凌ぐためにシベリアの方から飛んできているのです。なぜなら、雲南の気候は 1 年中春のようで春の城といわれるほど過ごしやすいからです。冬になると多少肌寒くはなりますが、雪も数年に一度しか降らないほど温かいです。カモメたちは 11 月頃から 3 月頃までの約 4, 5 か月間はずっと雲南にとどまります。そしてシベリアの方も温かくなり始める 4 月頃になるとまた飛び去っていきます。そして、人間から食べ物を受け取ると覚えているため、餌を手に乗せて伸ばすとカモメが自ら食べに来ます。くちばしでつつかれるのは少し痛かったですが、初めて手から食べてもらった時はとてもうれしかったです。カメラ

マンもたくさんいるので記念に写真撮影も可能です。1 枚 20 元（約 400 円）ほどで撮ってもらうことができます。



写真 4 西山から見た昆明市

そして、この滇池の付近には西山というもう 1 つの絶景スポットがあります。この山は道と階段が整備されているため、比較的登りやすい山です。ですが、石で作られている階段は少し滑りやすいため、気を付けなければいけません。また、道中は 9 割ほど階段上りになるため少し疲れやすいです。ロープウェイがあるのでこれを利用して上まで登ったり、ロープウェイを使わずに様々な高さからの景色を楽しんだり、ゆっくり登山をすることもできます。西山は 1 年中いつでも上ることが可能ですが特に冬だと暑すぎず、寒すぎずの気温なのでとてもおすすめです！冬でも晴天の日が多いため綺麗な昆明市を一望することができます。写真 4 は 12 月に行った時の写真ですがとても晴れていて昆明市を見渡すことができました！